

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 冬の展覧会

時の輪郭

2017年11月3日[金・祝]—12月24日[日]

ごあいさつ

点の集積で彩られる画面——。銅版画家・浜口陽三(1909-2000)の作品を間近で見ると、小さな点が寄り集まって色面を構成していることがわかります。一見すると筆で絵具を置いたような、ずっしりとした、しかしどこか手触りのよさそうな絵肌。

浜口が情熱をかたむけたカラーメゾチントという技法——銅板の表面に、インクを詰めるための無数のまくれ(きず)をつけたのち、図柄を描き出すためにまくれを磨く。それを黄、赤、青、黒の版を4枚つくる——は多大な時間と労力がかけられています。

本展では銅版画約45点と作品の細部を拡大した展示をします。何倍にも引き伸ばしたことで見えてくる貝の神秘的な形や、毛糸の柔らかな質感をご堪能ください。

私たちの気がつかなかつた、静謐な作品の物語るささやかな声に、耳をすませてみませんか。

展覧会概要

会場：ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション1階、B1階

開館時間：平日 11:00～17:00 / 土日祝 10:00～17:00 (最終入館16:30)

入館料：大人 600円 / 大学・高校生 400円 / 中学生以下 無料

休館日：月曜日

《ナイトミュージアム / 会期中、第1・3金曜日

(11/3、11/17、12/1、12/15)は20:00まで開館、最終入館19:30》

※休館日、開館時間、出品作品、イベント内容等は都合により

変更する場合があります。



貝(部分拡大)

浜口陽三 1976年 カラーメゾチント 11.5×11.3cm



A. 貝

浜口陽三 1976年 カラーメゾチント 11.5×11.3cm



B. 髪

浜口陽三 1953年 メゾチント 17.7×23.9cm



C. 赤い毛糸

浜口陽三 1979年 カラーメゾチント 3.7×3.8cm

プレスリリースご担当者様へ

展覧会をご取材いただけますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

作品画像の貸出についてはアルファベット (A~C) を広報担当 新田、吉田までお申し付けください。

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-35-7

TEL:03-3665-0251 FAX:03-3665-0257

Email:musee@yamasa.com HP:<https://www.yamasa.com/musee/>

アクセス:東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番出口そば / 日比谷線「人形町」徒歩8分 / 首都高速箱崎I.C 浜町出口又は清洲橋出口から車で約3分

中央区コミュニティバス(江戸バス) 北循環ルート「蛎殻町一丁目水天宮前駅(22番)」下車 徒歩3分